

科目名：歯科衛生士概論		必	2 単位 (90 時間)
(Introduction of Dental Hygienists)			
履修年次/時期：1 年次 前期		授業形態：講義	
主担当教員：片岡あい子（実務経験 4 年：実務経験から医療専門職としての基本的態度および倫理的思考法の基礎が身に付けられるよう授業を行っていく）			
担当教員：伊ヶ崎理佳			
学修目的	歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援する者となるために、医療専門職としての基本的態度について理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および倫理的思考法の基礎を修得する。 CP（1・2・3・4・5・6）に関連する。科目 No. S1C08H19		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	◎
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		（3）社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		（3）歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①歯科衛生士の定義を述べることができる。 ②歯科衛生業務の構成要素を説明できる。 ③業務実践にあたって、クリティカルシンキング・批判的に思考する意義を説明できる。 ④歯科衛生過程の6つのステップと意味を説明できる。 ⑤歯科衛生士による健康づくり支援は、患者（クライアント）第一に実践される理由を説明できる。 ⑥業務記録の意義を説明できる。 ⑦歯科衛生の実践は倫理的でなければならない理由を述べることができる。 ⑧インフォームド・コンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。 ⑨歯科衛生業務の実践には、コミュニケーション力が必要である理由を説明できる。 ⑩歯科衛生業務を実践するには、判断力と習熟した技術が必要である理由を説明できる。 ⑪保健・医療・福祉専門職それぞれの業務の概要を説明できる。 ⑫多職種との連携とチーム医療について概説できる。 ⑬歯科衛生業務と医療安全管理とを関連づけて説明できる。		
授業概要	歯科衛生士概論は、歯科衛生士の歴史を知ることにより、歯科衛生士の資格や3大業務を学ぶ。また、健康について理解し、歯・口の疾病・異常の概要を学び、歯科衛生士の仕事について理解する。		

評価方法	授業態度（10%）、本試験（90%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】2時間 【復習】2時間
教科書	『歯科衛生学総論』全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版
参考書	『歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修，医歯薬出版 『歯科診療補助論』全国歯科衛生士教育協議会監修，医歯薬出版
オフィス- 連絡先	片岡あい子 月～金 16:00～17:00 3号館2階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 伊ヶ崎理佳 火～金 16:00～17:00 3号館2階研究室 ikazaki@kdu.ac.jp ＊不在の場合はメールにて連絡を下さい。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1	歯科衛生学、歯科衛生士法と歯科衛生業務 ①歯科衛生学の定義をのべることができる。 ②歯科衛生士と健康のかかわりを説明できる。 ③歯科衛生活動の対象と領域について説明できる。 ④歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務を理解する。 ⑤歯科衛生士の専門性について概説できる。	[予習]「第1章」1-6 「第5章」42-52 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 歯科衛生学・歯科衛生士・歯科衛生士法・歯科衛生業務	講義 ○伊ヶ崎
2	歯科衛生業務（歯科診療補助） 歯科診療補助の概要を説明できる。	[予習] [第5章]45-46 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 歯科診療補助・医行為	講義 ○片岡
3	歯科衛生業務（歯科予防処置） 歯科予防処置の概要を説明できる。	[予習]「第5章」43-44 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 歯科予防処置・業務独占	講義 ○片岡
4	歯科衛生業務（歯科保健指導） ①歯科保健指導の概要を説明できる。 ②歯科衛生活動のための予防の概念・保健行動の理論を説明できる。	[予習]「第3章」20-31 「第5章」46-47 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 歯科保健指導・名称独占	講義 ○伊ヶ崎
5	歯科衛生士の活動の現況と活動の場 ①歯科衛生士の養成と就業状況を説明できる。 ②歯科衛生士の歴史について説明できる。	[予習]「第7章」77-88 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 歯科診療所・保健所・介護保険施設	講義 ○片岡
6	医療倫理 ①歯科衛生と医療倫理について説明できる。 ②インフォームド・コンセントについて説明できる。 ③歯科衛生士の倫理綱領について説明できる。	[予習]「第6章」66-76 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 医の倫理 患者の権利 倫理綱領 パターナリズム インフォームド・コンセント インフォームド・チョイス セカンドオピニオン	講義 ○伊ヶ崎

7	コミュニケーション ①コミュニケーションの方法について説明できる。 ②コミュニケーションスキルを身に付ける	[予習] コミュニケーションの方法を 考える [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 言語的コミュニケーション 非言語的コミュニケーション コミュニケーションスキル	講義 ○伊ヶ崎
8	医療安全管理（１） ①安全管理の必要性を説明できる。 ②安全管理について法的責任について説明できる。	[予習] 「第１章」53-65 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] ヒヤリ・ハット・インシデント・アクシ デント・感染予防対策	講義 ○伊ヶ崎
9	医療安全管理（２） ①感染経路予防対策について説明できる ②標準予防策（スタンダードプレコーション）について説明 できる ③医療廃棄物の分類と分別について説明できる	[予習] 「第１章」53-65 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 感染経路、標準予防策 （スタンダードプレコーション）、感 染リスク、感染対策分類、医療廃棄物	講義 ○片岡
10	チーム医療 ①歯科衛生活動の場を説明できる。 ②多職種連携について理解する。	[予習] 「第１章」5-7、98 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] プロフェッショナリズム 多職種	講義 ○伊ヶ崎
11	歯科衛生過程 ①歯科衛生業務において、歯科衛生過程を活用する意義を 理解する。 ②歯科衛生過程を説明できる。	[予習] 「第４章」32-39 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 情報収集・問題の明確化・計画立案・ 実施・評価・記録	講義 ○伊ヶ崎
12	業務記録 ①業務記録を説明できる。 ②業務記録の目的を説明できる。 ③業務記録の種類を説明できる。	[予習] 「第４章」39 [復習] 配布資料の確認 [キーワード] 業務記録・POS・SOAP	講義 ○片岡

13	現場での実践（１） 臨床での歯科衛生士の活動を説明できる。	〔予習〕 特になし 〔復習〕 配布資料の確認 〔キーワード〕 歯科衛生業務	講義 ○片岡 招聘講師
14	現場での実践（２） 歯科衛生士が業務を行うためのチーム医療を説明できる。	〔予習〕 特になし 〔復習〕 配布資料の確認 〔キーワード〕 認定歯科衛生士	講義 ○片岡 招聘講師
15	専門職と組織 歯科衛生士の社会組織活動の領域と組織活動を説明できる。 歯科衛生士概論のまとめ	〔予習〕 「第 7 章」 89-92 〔復習〕 配布資料の確認 〔キーワード〕 日本歯科衛生士会	講義 ○片岡 ○伊ヶ崎